

飛騨高山SDGsパートナーシップセンター第3回会議 次第

令和5年11月13日（月）
午前10時00分～
高山市役所 4階 特別会議室

1. 開会

2. センター長あいさつ

3. 報告事項

(1)飛騨高山SDGsパートナー登録制度の状況について 資料①-1・①-2

(2)飛騨高山SDGsウィークイベントについて 資料②-1～②-2

(3)高山市SDGs未来都市計画の進捗評価について 資料③-1・③-2

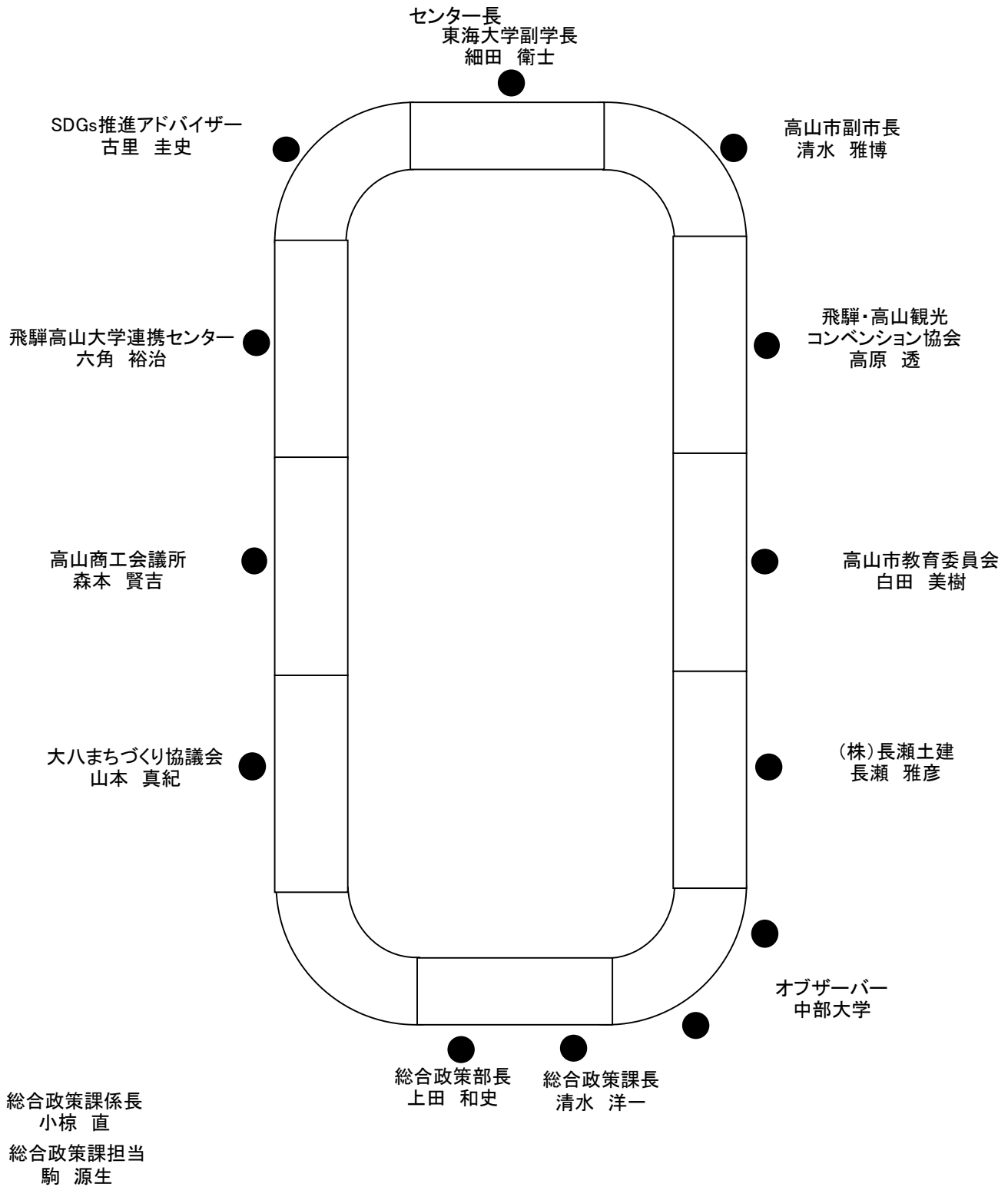
(4)高山市SDGs未来都市計画の更新について 資料④・参考資料①

4. 意見交換

5. 閉会

飛騨高山SDGsパートナーシップセンター第3回会議

(順不同、敬称略)



入口

入口

【オンライン】

SDGs推進アドバイザー
関 幸子

飛騨高山SDGsパートナーシップセンター 委員名簿

○委嘱期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日まで

(敬称略・順不同)

	団 体 名	氏 名	備 考
	東海大学副学長、中部大学学事顧問	細田 衛士	センター長
	高山市副市長	清水 雅博	
	(一社) 飛騨高山大学連携センター センター長	六角 裕治	
経 済	(一社) 飛騨・高山観光コンベンション協会 コンベンション事業部長	高原 透	
	高山商工会議所 青年部会 会長	森本 賢吉	
	高山金融協会 会長	沖本 直	ご欠席
社 会	高山市教育委員会 委員	白田 美樹	
	株式会社多美人生開発 取締役	張 訳丹	ご欠席
	大八まちづくり協議会 事務局	山本 真紀	
環 境	高山市環境審議会 委員 (環境省自然公園指導員)	小林 正直	ご欠席
	株式会社長瀬土建 代表取締役	長瀬 雅彦	
	飛騨ゼロウェイストプロジェクト	佐野 愛弓	ご欠席

SDGs 推進アドバイザー

団 体 名	氏 名	備 考
株式会社ローカルファースト研究所 代表取締役	関 幸子	オンライン
慶應義塾大学大学院 特任准教授	古里 圭史	

オブザーバー

団 体 名	備 考
中部大学	

区分	業種	事業者・団体名	主な業務等	宣言内容
事業者	建設・土木業	(株) 長瀬土建	建設・土木・林業	一人一人が行動に繋げ地域から信頼され持続可能な地域社会の創造に貢献できるように、周りの自然に目を向けることで未来につながる豊かな自然を守り、育んだりする私たちの独自技術を活用し、そこに暮らす人々の安心・安全で快適な暮らしを守る。様々な取り組みは社員一人一人が誇りをもって働くことができる。最新技術を活用するなど企業活動を進めるうえで地域の方々と「パートナー」に繋がります。
		(8) 宝興建設 (株)	土木・電気工事	全ては地域社会のお役に立ちたいという思いから、会社設立以来、様々な地域活動に参加し、自ら企画したボランティア活動を行ってきました。近年、SDGsという言葉を目にしますが、この取り組みは正に当社がこれまで行ってきた活動に通ずるものです。これからも初心を忘れず、この取り組み姿勢を継続していきたいと思っております。
		(株) ロビン	リフォーム業	リフォームにより住宅性能を高め、既存住宅に長く快適に住み続ける提案で、環境に優しい社会に貢献します。空き家のリフォームで人口流出に歯止めをかけ、地域の活性化につなげます。社員が仕事に誇りを持ち、働きがいのある企業であることを目指します。未来に必要なことは何かを常に考え、リフォーム会社として今できることを実践します。
		高山墓石店	石材全般	国際的に認知度が高い飛騨高山地域において、外国の方が永住を希望された際、その方にあったお墓を作ることで「人や国の不平等をなくそう」といったことに取り組みます。外国の方がお亡くなりになっても、魂が安らかに飛騨高山でお休みにられるよう、素敵なお墓を作ります！
		(株) 望みグループホールディングス	ハウスメーカー	私たちNOZOMI GROUPは、縁ある全ての人へ『笑顔いっぱい暮らし』を届けるため、多様な企画や活動を通し、社会の平和に貢献します
		(株) 鉞組	土木・建設業、足場関連工事業	(株) 鉞組の事業は、人々の生活環境の基盤をつくる仕事です。従来の工法では難しかった足場施工を、新たな工法を用いて行うことで、生産性と安全性を向上させることに成功しました。これからも、人々が安心・安全に暮らすためにインフラ整備の発展とまちづくりに貢献します。また、社員とその家族を大切にし、ワークライフバランスの確保や、「誰一人取り残さない」というSDGsの理念を遂行するために、全社員が共通の認識を持ち、SDGsに取り組むことを志します。
		(株) 洞口工務店	建築・土木・不動産・林業	株式会社洞口工務店は、地元丹生川を拠点に皆様の『住まい』に関わることをしています。堅実な施工とお客様のニーズを大切にし、地域に貢献できる総合建設業として顧客満足の向上を永遠に追及しながら社員の幸福を願う企業の持続的な成長を目指します。
		高橋建設 (株)	総合建設業	1. 土木・水道・設備・建築など住環境の整備を通じて、より快適な生活を提供し感謝される企業を目指します。2. 社員の健康、社員の学び、社員の平等を尊重し、生活の中に安心と充実感をもてる企業を目指します。3. 高橋建設株式会社は、地域に根付き、郷土の発展とともに成長する会社を目指します。
製造業	(11)	飛騨えごま本舗	食品製造業	「飛騨えごまの栽培・加工・販売を通じて地域活性と全国への食の安全と安心を届け、健康寿命を延ばしたい」を理念に掲げ、飛騨から全国へ、そして世界へ弊社の想いを発信し、地元である飛騨地域に貢献していきたいと考えています。自分たちの手の届く範囲で社会課題の解決に取り組むことを宣言します。地域の皆様と協力する地域活性を基軸とし、世の中の課題の解決に少しでも貢献できるよう意識した活動を行っていきます。
		(株) カネモク	木材製材業 (広葉樹)	飛騨高山産広葉樹を無駄なくカタチを変え、心豊かで安心安全な暮らしに貢献する
		(株) エレクス	電子機器製造業	株式会社エレクスは、カインズグループの理念である「ものづくり」と「おもてなし」の調和を実現すべく、ニーズを先取りした商品開発や、品質・環境・社員満足度の向上で、企業活動の継続と持続可能な社会の実現に貢献して参ります。
		富山建材 (株)	木工資材加工等	富山建材株式会社は、先人から引き継いだ「もったいない」という日本の精神をSDGsの精神に置き換え、新しい価値を創造して参ります。
		飛騨山椒	山椒の生産・加工	奥飛騨温泉郷地区の特産である山椒の生産を通じて、生産者の農業所得の維持向上と山椒栽培を次世代へ営々と引き継ぎたいと思っております。
		(有) ゆはら染工	染色製造業	染めの伝統技術を守りながら、地域の伝統文化の継承に貢献することを目指します。
		日医工岐阜工場 (株)	医薬品製造業	日医工グループは、サステナビリティ (持続可能性) が、長期的な企業価値の向上に欠かせないと認識の下、本業を通じてESGへの取り組みとともに、SDGsを推進し、製薬企業として「健康で豊かな社会の実現」に努めてまいります。
		日進木工 (株)	家具製造業	日進木工は、SDGsが謳われるずっと以前から自然からの贈り物である貴重な木材を、余すことなく生かすことで持続可能な資源の活かし方を常に心がけてきました。持続可能な循環型社会を推進するために、これからも未来を見据えた生産活動を続けていきます。
		東罐高山 (株)	紙容器・紙蓋製造	東罐高山株式会社は経営理念として明文化しています通り、社会のニーズと環境に調和した製品及びシステムの創造を行い、社会の繁栄に貢献します。 ・常に向上心を持って果敢に挑戦する企業風土を育むとともに、従業員の個性と創造性を尊重し、生活の安定を図ります。
		(有) ハシモトマシンナリィ	精密金属加工	精密機器の加工技術で日本のものづくりを支えます。
	ARTS CRAFT JAPAN	木製品製造	・樹木の個性を魅力として最大限に引き出すモノづくりで、日本の森と自然の恵みの豊かさを伝えます。 ・暮らしに木製品を取り入れて、永く使い続けるエンカルなライフスタイルを提案します。	
卸売・小売業	(7)	高山印刷 (株)	デジタル印刷業	欧州最先端デジタル印刷機器を通した生産性向上化促進。
		サンタの倉庫	リサイクルショップ	生活用品のリユースで循環社会を目指します。1点でも多くの品をリユースします。
		(株) 稲豊園	和菓子製造小売	世界には、まともに食べることができず消えていく命がある。それをあまり意識することがない日本で、飛騨高山で、私たちは、食べるものを作らせて頂いている。今あるものに感謝し、その中で少しでも長く地球・環境・社会と共生していくことができるよう、私たちなりにできることを真摯に取り組んでいきたいと思っております。いつも感謝の心を。
		HIDA Calf	革製品	EARTH COST
		(株) ホンダカーズ飛騨	自動車卸売業	ホンダ車の拡販を通じて、地域企業との連携、協力を行い、少しでも多くの方に安全と安心をご提供していきます。また、社員一人一人が誇りをもって働ける環境づくり、ES (従業員満足度) の向上に力を入れ、お客様の喜びが自身の喜び、社員の喜びが企業の喜びとなるよう日々努力と研鑽に励みます。
		青木自動車 (有)	自動車販売業	私たちは国連が掲げるSDGs17の達成目標に賛同し、自動車産業の一端を担う企業としての自覚を持ち社員全員がSDGsへの理解を深め学びを継続し、環境問題・社会問題・経済問題に対し積極的に取り組み貢献します。
		斐太石油 (株)	ガソリンスタンド・LPG販売	◇私たちは、カーボンニュートラルの推進を目指し、地域の環境保全と安心に貢献します。 ◇一人一人が家族と仲間を尊重し、地域からも支持され、いつまでもここで働きたいと思えるような職場環境を実現します。
飲食業	(7)	MINAVIETA	レストラン	地産地消に取り組み地域の人に喜ばれるお店作りをします。
		手打ちそば恵比寿	蕎麦屋	飛騨農家さんより仕入れた新鮮なお野菜を使用し、毎月飛騨の食ブランドを世界にPRできるような地産地消を目指した取組をしております。多くの方にお召し上がりいただける様、身体に良い食物を使った蕎麦の定番メニューから限定メニューまで日々試行錯誤しております。ベジタリアンのお客様にもご賞味いただける様、肉や魚を使わないダシもご用意しております。当店で働く方の人生が豊かになる様、希望の休みや無理の無い勤務形態を目標とし、従業員内でのやり取りは和気藹々としつつも、一人一人の個性を活かしたメリハリのある勤務になる様努めております。
		居酒屋 からあげのどん	居酒屋	廃棄食材削減のために、品質を落とさずに食材を冷凍できる急速冷凍機、賞味期限を大幅に引き延ばすことができる真空包装機を導入。
		飛騨高山まつりの森	団体レストラン	私たち「飛騨高山まつりの森」は、飛騨高山へお越しいただく国内外のお客様の安心と安全を第一に考え、無限にある想像力を形にし、飛騨の魅力を食べの観点から発信していきます。大切な食糧資源やエネルギー資源の有効活用を進め、環境改善を實踐し持続可能な社会の実現に貢献してまいります。
		FUDO	レストラン	地元の野菜を使用し地元の良さを発信致します。野菜を余すことなく使用し、栄養たっぷりのカルピオンを(野菜の出し)作ります。廃棄される前の野菜を引き取り食品ロスを推奨します。紙ストロー使用・エコバック持参を呼びかけ、店内暖房はベレットストーブを使用し世界の温暖化を防止します。
		Cafe & Rest Room335	レストラン	レストランを中心に人と人のつながりを生み出し、地域の笑顔を生み出します。
		オステリア・ラ・フォルケッタ	レストラン	街の景観に配慮した居心地のよい店舗づくりと自然環境に配慮した食材を使用し調理過程での廃棄物の削減CO2排出量の削減を目指します。

農林水産業		サノライス	農業（米・豆類）	無農薬・無化学肥料・畜産堆肥不使用の自然にも人にも優しい米作り豆作り、そしてその米と豆を使った味噌作りをたくさんの人に伝え、美しい里山の風景と素晴らしい日本の食文化を守ります。「農のある暮らし」の安心感や喜びをたくさんの人に伝えます。若い世代が担い手のいない農地を引き継いで自ら食べ物を作れるようにサポートし、地域内の食料自給率の向上を目指します。
	(5)	よしま農園	農業・食料品製造	水資源、環境、人の健康、飢餓に配慮した、肥料農薬堆肥を使わない栽培の農業。低投入持続型農業（LISA:Low Input Sustainable Agriculture）の実施
		飛驒高山森林組合	林業	わたしたちは、組合員・お客様との信頼関係を保ち、地域社会に貢献し、コンプライアンスの遵守と作業現場での「安全は総てに優先する」の基本方針で、元気で明るい職場づくり、働く仲間とそのすべての家族が幸せにいられるような森林組合を目指します。
		二本木生産森林組合	林業	適正な手入れにより森林を健全に保ち、森林資源の循環利用を促進することで、持続的な森林管理を目指します。移住希望者や観光客に対し、この地域の森からつながる伝統や文化、自然との共生について学ぶ体験の機会を創出します。
		(株) こうのとり	農業	安心安全な農作物の栽培、販売
宿泊業		ホテルアソシア高山リゾート	ホテル	私たちは地域共生企業の一員として、SDGsの理解を深め、地域社会との共生、環境に配慮した施設運営、働きやすい職場環境を兼ね備えたホテルづくりに努めます。従業員、地域の皆様、世界中からお越しいただくお客様がともに手を取り合いながら、持続可能でより良い社会を実現する世界を目指してまいります。
	(5)	乗鞍白雲荘	山小屋	乗鞍白雲荘は、環境に配慮した施設運営に尽力します。山岳における緊急時の砦として観光客の安全と安心を守り、利用環境保全を通して保護と利用の調和を目指し、自然体験プログラムの提供などで地域の魅力を発信し、観光の促進に貢献します。
		(一社) 高根村観光開発公社	飲食・売店販売・製造	御嶽山、乗鞍岳に囲まれた高根町の大自然を最大限に生かした高冷地野菜の生産でグリーンツーリズムの発展を目指す。
		たびのホテル飛驒高山	ホテル業	お客様にとって「世界でたった一つのホテル」を目指し、環境負荷を軽減したサステイナブル（持続可能）なホテル運営を行います。
		(株) ひだホテルプラザ	ホテル業	ひだホテルプラザは、今後もお客様や地域から愛されるホテルを目指し、様々な活動に取り組むことにより、観光産業を通じ、企業活動の継続と持続可能な社会の実現に貢献します。
サービス業		(株) 多美人生開発	旅行業・職業紹介	・ツーリズムを通じて地場産業活性を図る。・住み続けるまちづくりのため、DMOの組織の伴走を通じて農村過疎化地域を盛り上げる。・SDGsCompassの指針に沿い、パリ協定目標（1.5度未満）に向けて森林クレジット化づくりのサポートを行う。・職業紹介を通じて、国内外の人材と産業発展に向けた国々のより良い関係を構築する。人・企業・社会・環境に花を咲かせることのできる事業を行なうことに努力します！
	(7)	釣り&キャンプ鱒蔵	釣り堀・キャンプ場	宮川最上流域の美しく恵まれた環境の中で、釣りやキャンプの自然体験のできる施設を運営しております。自分達で鱒を釣って、さばいて、焼いて食べるという一連の経験から食育体験ができる活動をサポートします。
		飛驒高山グリーンヒート（同）	エネルギー供給	木質バイオマスを中心としたエネルギーの地産地消を目指すことでSDGsに貢献します。
		高山バイオマス研究所	コンサルタント業	バイオマスを活用した地域づくりに貢献することでSDGsを目指します。
		飛驒高山思い出体験館	体験施設	さるぼぼ作りや、せんべい焼き体験、木工体験などができる「飛驒高山思い出体験館」。さるぼぼ人形もかつては着物などの端布からつくられたぬいぐるみが現在の形になりました。作るだけでなく、ものや環境を大切にすることも伝えていきます。
		御嶽鈴蘭高原観光開発（株）	森林の有効活用	自然環境の社有林を利用して、企業と連携し社員の森林造成の体験を通し、緑の豊かさ、水の大切さ、気候変動について学ぶ場をつくります。
		ハマダスポーツ企画（株）	生活関連サービス業	地域社会の一員としてSDGsについて学び、取組みを実施していきます。管理業務を通じての心身の健康づくり、楽しい生活づくりに寄与するとともに地域に根差した活動を行います。
医療・福祉		中北薬品（株） 高山支店	卸売販売業	中北薬品では「まちづくり」の活動を推進しており、樹木のように地域に根を張り、中北薬品が持つ様々なツールを活用して枝葉を茂らせることで、ネットワークの形成並びに地域包括ケアシステムの構築を目指します。そして社員全員がその案内人（コンシェルジュ）になろう！という想いで活動します。
	(2)	NPO法人はたらくねっと	障がい者就労支援	私達ははたらくねっとは、障がいを持たれた方々の生活や労働の場として、利用者一人一人が個性や能力を発揮しながら社会に参画し、また施設への通所、作業を通して働き甲斐の確保につながるようサポートしていきます。障がいを持つことによる不平等の是正を図り、差別や虐待を防いで、誰もが安心して暮らし続けられる社会の実現を目指します。
その他		中部電力パワーグリッド（株）	送配電事業	当社（グループ企業を含む）が保有するリソースの活用や様々なパートナーとの協働により、地域の安全・安心をお届けするサービス等、地域のニーズに寄り添ったサービスを展開することで、地域の未来像実現に貢献します。
	(6)	白栗不動産	不動産仲介業	木の寿命は人の寿命をはるかに超えるもの。何世代も暮らせられる家でなければもったいないのでは。
		(有) 丸武産業	廃棄物処理運搬等	ECOLOGYをずっと RECYCLEをもっと
		斐太ゲーゼル（有）	自動車整備業	自動車等の修理を通じて環境を守ることに貢献します。
		飛驒の里	野外博物館	自然豊かな環境と、茅葺き民家などの文化財の宝庫「飛驒の里」。それらを通して地域の風俗習慣、伝統的な生活様式を伝えていきます。すべては自然から生まれ、自然へ還す。衣食住において無駄のない循環型の未来のために、お手本とすべき昔ながらの生活環境を守っていきます。
		(同) Lino	イベント主催	合同会社Linoは企業理念である「地方女性の貧困をなくす」「情報格差の解消」「地方女性の経済的自立支援」を軸とし、都会との格差がない質の良い学びを提供しております。飛驒での自然豊かな暮らしを持続可能にしていくための、衣食住・美容・お金など生活の質を上げる知識を実践していく機会を増やし広げていきます。
活動団体	(11)	飛驒ゼロウェイストプロジェクト	ごみ削減	Rethink、Realize、React!「なぜ?」という疑問符を持って生産者と消費者日々の暮らし・買い物から学び合い、自分で考えて行動するきっかけを作りたい。よりよい地域社会と環境、これからの心地よい暮らしのために。1人の100歩よりも100人の1歩を。安心して暮らせる希望のあるまち大八
		大八まちづくり協議会	まちづくり協議会	
		森のごちそうの里・コミュニティー飛驒	ジビエの振興活動	飛驒地区のジビエの利活用推進による自然と人間の共生をめざします。
		飛驒高山フューチャープロジェクト	職場体験活動	地域と子供たちの未来のための地方創生に貢献します
		NPO法人はみんなアニマル	動物愛護活動支援	命と向き合う動物愛護の活動が持続可能な取り組みになるよう、飼主のいない犬や猫の保護活動に取り組む方々をサポート。家庭や企業から不要になったペット用品を回収し、分配。廃棄ロスを減らしペットフードバンクに取り組みます。また、災害時には支援物資として提供。平時にも有事にもいのちに優しい地域社会の構築を目指します。
		ファミリープラネットジャパン	外国人移住労働者支援	外国人移住者と地域住民との架け橋となり、生活のサポートやルールなどの共有、交流などを通して多文化共生の理解促進と多様性あるまちづくりにつなげる。今後も全国的に外国人移住者の増加が考えられる中、従来の「外国人＝旅行者（お客様）」という視点だけでなく、「外国人移住者＝一緒に住む住民」という考えを持ち、市民一人一人が様々な背景を持った人々との関わりをジブンゴトとして積極的に取り組むことが出来るよう促す。
		entrance1291	結婚相談	婚姻に対する価値観に配慮したうえで、婚活サービスを通じ、・婚姻数が増えることによる出生数の増加・結婚式実施の増加による商業活性化・人口増加による自治体のサービス拡充を目指します！障がいのある方にも積極的に婚活サービスを利用してもらい、本人も家族も安心できるお相手に出会えるサービスを提供します。女性が働くうえで、本当の男女平等を考えます。そのために、まずは妻と子供、親に感謝します。
		飛驒高山民泊・簡宿組合	民泊施設等	高山市を始め他企業様、団体様と協力し、様々な活動を通して高山市の人口流出と流入の差を「0」を目指します。
		NPO法人飛驒高山わらべうたの会	子育て支援サポート	木育とわらべうたを軸に、誰もが安心して笑顔で子育てできる社会の実現のために尽力します。
		五色ヶ原の森案内人の会	五色ヶ原の森保護管理活動	自然の保護と、自然の素晴らしさを伝えます。
		北地区まちづくり協議会	まちづくり協議会	「出あい・触れあい・助けあい・学びあい」という4つの「あい」を大切にしぬくもりのある地域づくりにみんなで参加し活動します。
その他		国立乗鞍青少年交流の家	宿泊研修施設	分水嶺と水源地のある森林資源を地域の誇りに！当施設を利用する団体にSDGsについて学べる体験活動プログラムを提供します。体験者が飛驒の豊かな森林資源が海を守ることに貢献していることを学んで、郷土愛を醸成できるようにします。
	(3)	岐阜大学社会システム経営学環地域ラボ・高山	高等教育機関	地域ラボ・高山では、大学生の実習拠点としての活動や、高校と大学をつなぐ高大接続、社会人向けのリスキリングやリカレント教育事業を実施することにより、地域の幅広い層に対しての学びや交流の場を創出していきます。また、それらの活動を通して、地域の事業者と協働した取り組みを進めると共に、地域社会の課題解決につながる新規事業の創業・起業、地域社会での共生ができる人材育成に取り組んでいきます。
		岐阜県立高山工業高等学校	教育	私たちは、SDGsの理念のもと、ものづくりをしていきます。組織として取り組むことで、一人ひとりの意識向上に繋げ、将来地域で持続可能な社会を築くエンジニアを育成します。

No.	リクエスト元パートナー		提案者		取組み結果
	団体名	課題等内容	団体等名	提案内容	
1	ホテルアソシア高山リゾート	SDGsをテーマにしたクリスマスツリーを制作するにあたって、装飾デザインや制作を一緒にしてもらいたい	岐阜県立飛騨高山高等学校	授業で余った布の端切れ、ペットボトルなどを活用してクリスマスツリーの装飾をします	普段は捨てられる布の端切れ、牛乳パックやペットボトルなど華やかな装飾に大変身したSDGsを身近に感じていただくきっかけとなり、生徒にも地元ホテルを知っていただくきっかけとなった
2	(株) エレクス	当社が企画する地域の清掃活動イベントに参加いただける企業・団体を募集して、イベントを盛り上げたい	国府町まちづくり協議会	当会のSNSや広報紙を利用して町民の参加を促します	地域住民へのSNSによる参加の呼びかけ、広報紙への活動内容の掲載いただいた当社の地域貢献活動を知っていただく一助となった
3			森とひとと木	ネイチャーゲームで楽しみながらSDGsを伝えます	参加者からは「身近なところにSDGsにつながるがある」とわかった」など関心を持つきっかけとなった
4	国立乗鞍青少年交流の家	SDGsに関するカードゲーム「Moritomirai (モリトミライ)」をやってみませんか	大八まちづくり協議会	大八地域で開催したい	東小学校6年生の探求学習の一環で開催ゲームを通して協力する姿が多く見られ、「現実世界でも手を取りながら進んでいきたい」との反応があった
5	飛騨高山フューチャープロジェクト	地域お仕事発見隊2023 参加企業様募集	(株) 長瀬土建	飛騨高山フューチャープロジェクト「地域お仕事発見隊2023」に参加することができます	建設業の必要性ややりがいを説明した後に、ドローンで現場の撮影やSNSでの発信を体験 仕事について考えるきっかけと地元の思い出や地元愛が深まった
6			(株) エレクス	お仕事発見隊に参加し職場見学と電子工作体験を行います	電子部品の製造工程の見学後、部品のはんだ付けを体験 最先端のものづくりに触れ、ものづくりの楽しさを体感できた
7	ホテルアソシア高山リゾート	一緒にクリスマスツリーのオーナメントをつくりませんか	岐阜県立高山工業高等学校	本校の施設と、生徒が学習した技術を活かして、ツリーの飾りに使用する材料の加工、仕上げをすることができます	(11月中旬実施予定)
8			龍華保育園	子どもたちの自由な発想や想像力で絵を描きます	
9			日医工岐阜工場	当社従業員と家族(子ども)の希望者に参加いただくことができます	
10	国立乗鞍青少年交流の家	SDGsに関するカードゲーム「Moritomirai (モリトミライ)」をやってみませんか	(募集中)		
11	HIDA Calf	HIDA Calfとコラボして飛騨牛革の魅力をPRしませんか	(募集中)		
12	高山印刷 (株)	「何度も貼ってはがせる」エコで持続可能な新素材シール「サクシオンタック」での印刷アイデア募集	(募集中)		

飛騨高山SDGsウィークイベントについて

○目的

市内におけるSDGsに対する認識を高め、市民の意識の高揚を図るとともに、SDGsに取り組む事業者・団体を市民が知る機会を醸成するため、合わせて、市に来訪する観光客に対し、SDGs未来都市として市内におけるSDGsの取組みをPRするためのイベントを開催

○イベントの経緯

令和4年度：＜市役所1Fロビー＞市の取組み

飛騨高山SDGsパートナー登録事業者、飛騨高山高校の展示

令和5年度：10/10～16＜市役所1Fロビー＞市の取組み

10/14＜市役所地下市民ホール＞公募した事業者・団体のブースを設け、各団体の取組みを紹介するパネル展示及び参加型ワークショップを実施

○令和5年度の経緯・結果

- ・飛騨高山SDGsパートナーシップセンター委員のうち、経済・社会・環境分野から選出されている委員による打合せを開催
例年実施されているキッズフェスタ（商工会議所青年部主催）のイベントをSDGsを意識したイベントとしたい旨のご発言があり、ウィークイベントを同時開催する方向とした
- ・イベント出展（公募）32団体（パネル出展30、ワークショップ12団体）
- ・来場者（手元集計）320名 参加者（関係者含む）約400名
- ・参加者からは、「もう一周回りたい」「目当てのワークショップがあつて来場した」などの意見があり、アンケートからも「参加して良かった」などの好意的な意見であった。
- ・出展者からの意見（良かった点・課題）は資料②－２

○その他の取組み

- ・キッズフェスタイベントとの連携
キッズフェスタ会場に市のブース出展、駐車場を市役所付近に設定、スタンプラリーを実施しグリーンライフ in 飛騨（環境配慮行動）のさるぼぼポイントを進呈
- ・参加者、出展者双方へのアンケート調査
参加者：スタンプラリーの裏面を利用したアンケート
出展者：インターネットアンケート
- ・飛騨高山SDGsパートナーシップセンター委員の提案で出展した「陣屋前夜市」でのSDGs短冊を展示
- ・飛騨高山SDGs巡回展の開催
支所地域へのSDGsに取り組む事業者・団体の周知を図るため、4支所において巡回展を開催中



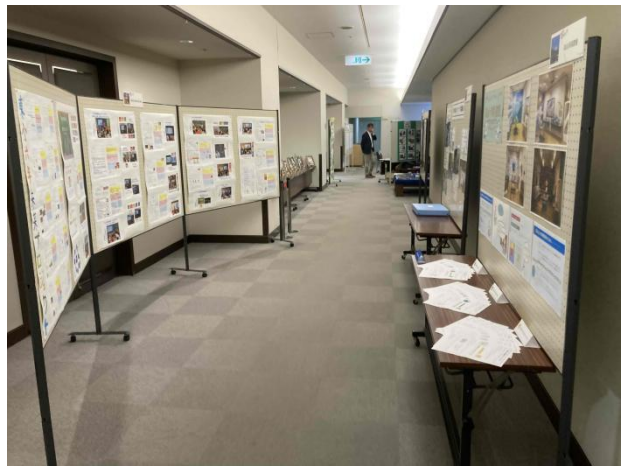
オープニング



会場の様子①



会場の様子②



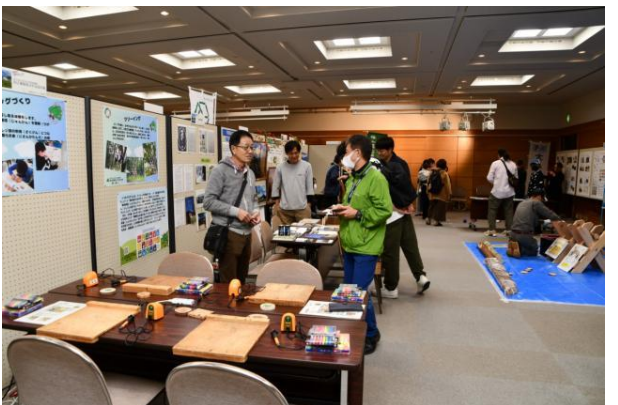
会場の様子③



会場の様子④



会場の様子⑤



交流タイム①



交流タイム②

飛騨高山 SDGs ウィーク出展者アンケート (まとめ)

○イベントに対する感想

良かった点	<p><イベント全体></p> <ul style="list-style-type: none"> ・飛騨の木を使ったワークショップは、とても人気だった ・参加した子ども達が、「2番は『みんながご飯食べられるように』、だね!」「15番は『森を守ろう』、だね」ってちゃんと <u>SDGs の番号と目標を覚えてくれていて、「2番が当たりますように…」「17番の『みんなと協力』が当たりますように…」</u>なんて言いながら参加していて、とても微笑ましかった ・展示だけで見てもよくわからないことが多いですが、<u>出展者がいることでより具体的な活動内容を知ることが出来た</u> ・ワークショップでは<u>個々での質問など対話しながら、出来たのがとても良かった</u> ・<u>市民の関心の高さを感じる事が出来たこと</u> ・市内でも多くの方が <u>SDGs に関する活動をしていることや、興味を持って見に来てくれることがわかった</u> <p><出展者の繋がり></p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>横のつながりを充実させる機会となった</u> ・他の事業所の方との交流の時間があり、<u>今後の連携やつながりのきっかけとなった</u> ・地元での横のつながりができたことや、<u>今まで知らなかった素晴らしい取組みをしている企業と交流が出来たこと</u> ・交流タイムがあったことで、<u>お互いに補い合える団体と出会うことができた</u> ・<u>普段繋がることのない事業者・関係者様とお話しできたこと</u> <p><事業PR></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日頃行っている活動を<u>なかなかアピールする場がないので、このように業種問わず、学校や団体・企業が平等に出展出来る点は非常に良い</u> ・SDGs パートナー企業に登録している企業に対しての<u>メリットでもあると思う</u> ・来場者の方々と直接お話しできて、意識などが肌感覚で感じられ、<u>より細やかな応対やニーズに合った情報提供ができるようにしたい</u> ・当日のイベントだけでなくSNSにて事前の企業紹介も頂き海外の知人や域外の方々にも未来都市飛騨高山をアピール出来たこと
課題	<p><イベント全体></p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催場所（地下市民ホール）が少し残念だった（もう少しわかりやすい場所での開催を希望） ・<u>企業名のパネルについては、もう少し大きく分かり易くした方が良い</u> ・イベントの開催を<u>市民の皆さんが意外とご存知ないようだった</u> <p><出展者の繋がり></p> <ul style="list-style-type: none"> ・もう少し<u>企業間交流をすればよかった</u> ・<u>企業紹介の時間がほしい</u> ・来客対応が忙しすぎて、<u>他のブースとの交流時間があまりとれなかった</u> <p><自社ブース></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップも午前中で完売し、もう少し用意しても良かったなと思う ・<u>掲示方法がよくなかった。回を重ねることでもっと良くなると思う</u> ・子ども連れの方が多いため<u>パネル展示では盛り上げにかけた</u> ・<u>展示にあまり目を向けて貰えなかったことが残念</u> ・<u>掲示物だけでは素通りする方が多く何か仕掛けが必要</u>

SDGs未来都市等進捗評価シート

2021年度選定

岐阜県高山市

2023年9月

SDGs未来都市計画名

自治体SDGsモデル事業
又は特に注力する先導的取組

高山市 SDGs未来都市計画
世界を魅了し続ける『国際観光都市 飛騨高山』の実現

—

1. 全体計画（2030年のあるべき姿）

(1) 計画タイトル

高山市 SDGs未来都市計画 世界を魅了し続ける『国際観光都市 飛騨高山』の実現

(2) 2030年のあるべき姿

飛騨高山特有の風土と飛騨人（先人）が生み出し、先人たちが守り、築き上げてきた自然や歴史・伝統が後世に引き継がれるとともに、それらを活かした地域経済の発展が図られ、心豊かな暮らしが営まれている、国内外から選ばれ続ける「国際観光都市 飛騨高山」の実現を目指す。

- ①地域特性を活かした産業が活性化し、賑わいと魅力にあふれるまち
- ②歴史・伝統が継承され、郷土への誇り・愛着が持てるまち
- ③自然がもたらす多様な恵みを活かすとともに、脱炭素社会に貢献するまち

(3) 2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール



(4) 2030年のあるべき姿の実現に向けた取組の達成状況

No	指標名 ※□内はゴール・ターゲット番号	当初値	2022年（現状値）		2030年（目標値）		達成度（%）
1	雇用者1人あたりの雇用者報酬 【2.3,8.2,8.9,9.2】	2018年 3,961 千円	2020年	4,029 千円	2024年	4,300 千円	20%
2	就業者1人あたりの市内総生産額 【2.3,8.2,8.9,9.2】	2018年 7,054 千円	2020年	6,776 千円	2024年	7,800 千円	-37%
3	働く場としての高山市に魅力を感じている市民の割合 【2.3,8.2,8.9,9.2】	2019年 27.7 %	-	-	2024年	27.7 %以上	-
4	国・県指定登録文化財の件数 【4.7,11.4,17.17】	2019年 176 件	2022年	178 件	2024年	190 件	14%
5	高山市に対し誇りや愛着を感じている市民の割合【4.7,11.4,17.17】	2019年 84.4 %	-	-	2024年	84.4 %以上	-
6	これからも高山市に暮らし続けたいと感じる市民の割合 【4.7,11.4,17.17】	2019年 83.6 %	-	-	2024年	83.6 %以上	-
7	二酸化炭素排出量 【12.2,12.8,13.3,15.4】	2018年 60.7 万t	2020年	55.9 万t	2030年	40.0 万t	23%
8	森林による二酸化炭素吸収量 【12.2,12.8,13.3,15.4】	2018年 57.8 万t	2021年	64.3 万t	2030年	51.5 万t	-103%
9	「自然環境の保全や自然エネルギーの活用をはじめ、地球環境を守る取り組みが進んでいる」と感じている市民の割合 【12.2,12.8,13.3,15.4】	2019年 28.7 %	2022年	40.1 %	2024年	28.7 %以上	140%

1. 全体計画（2030年のあるべき姿）

(5) 「2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

【経済】

・令和4年度も引き続き新型コロナウイルス感染症の影響による外国人旅行者の入国制限措置や、感染拡大時の移動自粛などから、経済の好循環には厳しい状況【指標2】が続いた。その一方で10月以降の外国人旅行者の入国制限の緩和や国や県の旅行支援、市独自の誘客促進策により、観光客数や外国人旅行者の宿泊者数に回復の傾向がみられることから、観光関連事業者と連携しながら計画に基づく取組みをすすめることにより、目標値の達成を目指す。
なお、【指標3】については、令和5年度において調査し、指標の把握を予定している。

【社会】

・若者が活動する場の提供や、伝統的建築物・伝統産業を守る取組み、移住者や関係人口創出のための取組みをすすめる、新たに登録文化財の指定も増加【指標4】した。郷土に誇りや愛着を持つ市民【指標5】や暮らし続けたいと思う市民【指標6】に関する調査は令和5年度に実施を予定しており、市民に対し市の魅力や価値を再認識し、誇りと愛着の醸成を図るとともに、若者等活動事務所や大学との連携による活動をはじめとして、引き続き若者活動を推進する。
なお、【指標5】及び【指標6】については、令和5年度において調査し、指標の把握を予定している。

【環境】

・令和4年3月に策定した地球温暖化対策地域推進計画（第二次）の推進により、市域からの二酸化炭素排出量の削減等、二酸化炭素排出量実質ゼロの早期達成、再生可能エネルギー自給率実質100%を目指し、取組みを推進する。【指標7】
・また100年先を見据えた持続可能な森林経営に取り組む【指標8】とともに、中部山岳国立公園などの山岳資源を活かす仕組み・体制づくりをすすめた。その結果森林による二酸化炭素吸収量は増加し、目標値の超過を維持している。引き続き、関係自治体、事業者・団体と連携しながら地域・産業の活性化につながる取組みを推進する。

【普及啓発・情報発信】

「飛騨高山SDGsウィーク」の開催

・市民のSDGsの取組みへの第一歩となるよう、令和4年9月に「飛騨高山SDGsウィーク」を開催した。市内でSDGsに取り組む事業者や団体の紹介展示や、SDGsに関するワークショップを開催し、個人の取組みの促進を図るイベントとして実施した。

「SDGs推進フォーラムin飛騨高山」の開催

・中部圏SDGs広域プラットフォームとの共催で、市民・市内事業者・団体はもとより、中部圏のSDGsに取り組む団体等の更なる取組みを目的として、令和4年10月に「SDGs推進フォーラムin飛騨高山」を開催した。市内及び中部圏で先進的にSDGsの取組みをすすめる団体からの事例発表を行い、発表者と参加者が直接やり取りできる機会としてのポスターセッション、飛騨高山SDGsパートナーシップセンターのセンター長・アドバイザーからの基調講演、中部圏SDGs広域プラットフォームによるパネルディスカッションなど多彩なプログラムにより、更なるSDGsの取組みへと繋げるための契機となった。

【行政内部の執行体制】

・SDGs未来都市計画を着実かつ強力で推進するため、また全庁的な取組みの促進に向け、専属的にSDGsを推進するための組織を新設した。またこれまで管理職を対象に実施したSDGsに関する職員研修を、管理職以下（会計年度任用職員を含む）に拡大し、全庁的な取組みの推進を図っている。

1. 全体計画（自治体SDGsの推進に資する取組）：計画期間2021年～2023年

(1) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況

No	取組名	指標名	当初値	2021年実績	2022年実績	2023年実績	2023年目標値	達成度(%)
1	観光まちづくりの推進	観光客入込者数	2020年 230.0 万人	2021年 194.8 万人	2022年 308.6 万人		2024年 500.0 万人	29%
2	観光まちづくりの推進	外国人観光客入込者数（宿泊）	2020年 10.0 万人	2021年 0.3 万人	2022年 4.0 万人		2024年 80.0 万人	-9%
3	地域循環型経済の構築	農業粗生産額	2018年 228.3 億円	2021年 229.9 億円	2022年 241.8 億円		2024年 230.0 億円	794%
4	飛騨高山ブランドの強化	特産品の製造品出荷額等	2018年 165.0 億円	2020年 165.0 億円	-		2024年 170.0 億円	-
5	飛騨高山ブランドの強化	「市内で生産されているものが市内で販売、消費されるなど地域内で経済が循環している」と感じる市民の割合	2019年 50.4 %	2021年 49.2 %	2022年 43.8 %		2024年 50.4 %以上	87%
6	歴史・伝統の保存、継承	国・県指定登録文化財の件数	2019年 176 件	2021年 177 件	2022年 178 件		2024年 190 件	14%
7	夢と誇りが持てる社会の構築	各種講座（生涯学習講座、出前講座、子ども夢創造事業）の参加者数	2018年 22,827 人	2021年 13,197 人	2022年 13,436 人		2024年 25,000 人	-432%
8	歴史・伝統の保存、継承	「文化財や伝統芸能が保存、継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じる市民の割合	2019年 75.7 %	2021年 72.8 %	2022年 70.5 %		2024年 75.7 %以上	93%
9	夢と誇りが持てる社会の構築	地元へ愛着を感じている高校生の割合	2018年 84.0 %	-	-		2024年 84.0 %以上	-

1. 全体計画（自治体SDGsの推進に資する取組）：計画期間2021年～2023年

No	取組名	指標名	当初値	2021年実績	2022年実績	2023年実績	2023年目標値	達成度(%)
10	ともに支え合うしくみの構築	「市民、地域、行政が協働にてまちづくりに取り組んでいる」と感じている市民の割合	2018年 54.3 %	2021年 58.5 %	2022年 53.9 %		2024年 54.3 %以上	99%
11	脱炭素社会の早期実現	再生可能エネルギー自給率	2018年 8.2 %	2019年 26.5 %	2020年 28.2 %		2030年 100 %	22%
12	100年先の森林づくり	木材生産量（年間）	2018年 135,333 m3	2020年 88,342 m3	2021年 94,182 m3		2029年 150,000 m3	-281%
13	100年先の森林づくり	森林技術者数	2018年 178 人	2020年 175 人	2021年 163 人		2024年 200 人	-68%
14	山岳資源を活かした地域活性化	中部山岳国立公園南部地域における1人あたり消費額（日本人）	2018年 41,509 円	-	-		2025年 50,000 円	-
15	山岳資源を活かした地域活性化	中部山岳国立公園南部地域における1人あたり消費額（外国人）	2018年 68,038 円	-	-		2025年 88,000 円	-

(2) 自律的好循環の形成へ向けた制度の構築等

【普及啓発・情報発信】

「飛騨高山SDGsパートナーシップセンター」の設置

・多様なステークホルダーの連携促進を図るため、市内におけるSDGsの取組みを検討する場として、令和4年5月に「飛騨高山SDGsパートナーシップセンター」を設置し、協議を行っている。センターの設置を契機として、市広報紙「広報たかやま」において市内におけるSDGsの取組みを周知するための特集号を発行し、市民への普及啓発に努めた。

・「飛騨高山SDGsパートナー登録制度」の開始

・市内の事業者・団体による更なるSDGs達成に向けた取組みや市民・事業者・団体の連携した取組みの促進に向け、令和4年7月に「飛騨高山パートナー登録制度」を開始した。SDGsの取組みの情報発信をはじめ、SDGsを取組む際の課題について連携した取組みが可能となるようマッチング支援の仕組みを設け、市内事業者・団体の取組み及び連携した取組みの促進を図っている。（参考：令和5年8月末現在59団体が登録）

1. 全体計画（自治体SDGsの推進に資する取組）：計画期間2021年～2023年

(3) 「自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

【経済】

・「観光まちづくりの推進」の取組みとして、主要なステークホルダーである（一財）飛騨高山大学連携センターと連携し、國學院大學とともに「持続可能な観光まちづくりに関する調査」を令和3年度に引き続き実施した。【指標1及び2】また、新型コロナウイルス感染症の影響の収まりを見据え、国内外からの観光客向けに、当市のPRを行うためのプロモーションの積極的展開、ふるさと納税の返礼品の機会を活用した地元産品の磨き上げなど、コロナ後を見据えた取組みを推進した。【指標3、4、5】

【社会】

・「歴史伝統の保存、継承」の取組みとして、歴史記的な町並みの維持・保全のため伝統的建造物群保存地区内の建築物の修理・修景や土蔵等の修理に対して助成を行った【指標8】ほか、さらなる保全に向けた伝統的建造物群保存地区の拡大に向けた調査【指標6】、歴史的な価値のある文化財等の活用に向け、日本遺産サイクルリーの整備や市内児童に夢や憧れなどを養い、自らの住む地域に誇りと愛着の醸成を図る子ども夢創造事業などを実施した。今後子どもたちが、科学技術にふれる機会を提供するため、企業や団体の協力による直接体験の機会を充実を図る。【指標7及び9】

【環境】

・日本一の森林面積を有する市として「100年先の森林づくり」の取組み【指標12及び13】として、災害に強い森林づくりのため、森林経営管理アドバイザーの助言を受けつつ、保育間伐による森林整備を実施した。また、林業における担い手不足の解消に向け、県森林文化アカデミーと連携するとともに、市内林業事業体に就職した移住者への助成を行うことで、森林技術者全体は減少しているもの【指標13】新たに5名の従業者等を確保することができた。引き続き各種取組みをすすめ、木材生産量及び技術者数の増加を図る。


・「山岳資源を活かした地域活性化」の取組み【指標14及び15】として、環境省、岐阜県、長野県、松本市と連携した「松本高山BigBridge構想」に基づく取組みとして、中部山岳国立公園及び周辺の魅力を活かし世界水準のディステーションを目指すための取組みを推進した。

・地元金融機関が環境配慮行動を行う市民や観光客に対し、地域通貨「さるぼぼコイン」の仕組みを活用したポイントを付与する「グリーンライフin飛騨」の取組みに市も参画し、食品ロスやプラスチック廃棄物の削減に向けた取組みの促進を図った。

(4) 有識者からの取組に対する評価

世界を魅了し続ける「国際観光都市 飛騨高山」の実現

岐阜県高山市（2021年度選定）

<p>1. 地域の特徴と課題及び目標</p>	<p>本市は岐阜県の北部に位置し、東京都とほぼ同じ面積を有する日本一広い市である。長年にわたり官民が一体となった観光地づくりを進めてきたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、観光を主軸とした産業をはじめ、地域全体が衰退の危機にある。こうしたことを踏まえ、“自分たちが住むまち、どのような姿が望ましいか”という市民の思いを尊重しながら、地域経済の発展と持続可能性を高め、国内外から愛されるまちづくりを目指す</p>	<p>2. 関連するゴール</p> 
<p>3. 取組の概要 (三側面をつなぐ統合的取組概要を含む)</p>	<p>飛騨高山特有の風土と飛騨人（先人）が生み出し、先人たちが守り、築き上げてきた自然や歴史・伝統が後世に引き継がれるとともに、それらを活かした地域経済の発展が図られ、心豊かな暮らしが営まれている、国内外から選ばれ続ける「国際観光都市 飛騨高山」の実現を目指す。 ①地域特性を活かした産業が活性化し、賑わいと魅力にあふれるまち ②歴史・伝統が継承され、郷土への誇り・愛着が持てるまち ③自然がもたらす多様な恵みを活かすとともに、脱炭素社会に貢献するまち</p>	
<p>4. 自治体SDGs推進等に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 飛騨高山SDGsパートナーシップセンターの設置 多様なステークホルダーの連携促進を図るため、市内におけるSDGsの取組みを検討する場として設置し、協議を行っているセンター設置を契機として、市広報紙の特集号を発行しSDGsの取組みの周知など市民への普及啓発を図った ➢ 飛騨高山SDGsパートナー登録制度の開始 市内の事業者・団体による更なるSDGs達成に向けた取組みや市民・事業者・団体の連携した取組みの促進に向け、登録制度を開始した 情報発信をはじめ、課題や取組みの促進に連携した取組みが可能となるようマッチング支援の仕組みを設け、ステークホルダーの取組みの促進に寄与している 	<p>6. 取組成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 新型コロナウイルス感染症の影響の収まりを見据え、誘客に向けたプロモーションの積極的な展開を図り、目標値までは達しないものの前年と比較して58.42%の増加となった ➢ 歴史伝統の保存、継承として、歴史的な町並みの更なる保全に向け、伝統的建造物群保存地区の拡大に向けた調査や活用のための日本遺産サイクルラリーの整備などを行った。また新たに国指定文化財への登録が1件あった ➢ 100年先の森林づくりとして取組みをすすめた結果、木材生産量は増加しており、森林技術者の全体数は減少しているものの、新規森林技術者の確保に繋がっている ➢ 飛騨高山SDGsパートナー登録において、登録事業者・団体の課題や連携した取組みの促進を図るためのマッチング支援において、3件のマッチングが成立し、連携した取組みの促進を図ることができた 	
<p>5. 取組推進の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ SDGsの取組みの第一歩となるようワークショップや取組みの紹介展示を行う「SDGsウィーク」の開催、ステークホルダーの取組みが連携した活動に繋がるよう交流を深める目的で「SDGs推進フォーラムin飛騨高山」を開催し、市民・事業者・団体の取組み支援を行った 	<p>7. 今後の展開策</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 飛騨高山SDGsパートナーシップセンターを中心に、SDGsの取組みを行ううえでの課題を共有し、今後の取組みの方向性を検討するとともに、各種イベントの自走に向けた検討やより良い制度運営の構築を図る 	
<p>8. 他地域への展開状況（普及効果）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➢ SDGs未来都市や市のHPによる情報などから、修学旅行の目的地として当市を選定され、地方創生SDGsの取組みを学んでいただく機会が増加している。また県内全市の市長が集まる市長会においてSDGsの取組みの紹介を行った 	

高山市SDGs未来都市計画の更新について

○趣旨

- ・令和3年度に国のSDGs未来都市に選定を受け、令和3年度から令和5年度までの3年間の高山市SDGs未来都市計画（以下、「市計画」という。）を策定した。
- ・令和6年度から令和8年度まで（3年間）の第二期市計画を今年度中に策定する必要がある。

○方針

- ・国が示した第二期の計画策定の考え方では、現行の計画の更新を基本とする旨が通知されている。
- ・現行の市計画は、総花的という意見もあるが、一方で「国際観光都市」という世界を見据えた計画であることについて、一定の評価をいただいている。
- ・現行の計画期間には、新型コロナウイルス感染症の影響により、外国人旅行者の来訪の制限やプロモーション活動等に制限を受けたことから、それらの制限が緩和された現状において、第二期市計画でも引き続き取り組む必要がある。
- ・以上のことから、第二期市計画については、現行市計画の基本的な考え方を引き継ぎ、更新する形で策定をすすめる。

○総合計画との整合

- ・市の第八次総合計画は、令和6年度までの計画期間となっており、現在、令和7年度からの第九次総合計画の策定に向け、市民意見把握や調査分析等を行っているところである。そのため、総合計画と市計画との整合については、第三期の計画策定時において改めて検討する。
- ・第二期市計画においては、現行市計画で既に事業を終了した取組みなどは見直し、市長公約に掲げる事項などを反映させた計画としていく。

○スケジュール

- ・令和5年12月 第二期SDGs未来都市計画素案を国へ提出
- ・令和5年12月～令和6年1月 国の検討会・タスクフォースによる意見照会、内閣府による確認
- ・令和6年 2月 第二期SDGs未来都市計画策定

世界を魅了し続ける「国際観光都市 飛騨高山」の実現

飛騨高山SDGsパートナーシップセンター

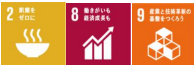
大学等教育機関

地域住民組織

産業関係団体

産業の活性化による
担い手・関係人口の増加

経済



観光まちづくりの推進

- 目指すべき観光の姿の共有
- 奥飛騨温泉郷エリアの活性化
- 民俗文化に親しむ観光拠点の整備

飛騨高山ブランドの強化

- メイド・バイ飛騨高山認証制度
- 実効性・即効性のある
プロモーション推進体制の構築

地域循環型経済の構築

- 地域経済構造分析の活用
- 地産地消の推進

自然・環境資源を活かした
産業の活性化

環境保全を意識した
経済活動による
環境負荷の軽減

歴史・文化資源を活かした
産業の活性化

人・自然・文化がおりなす 飛騨高山SDGsパートナーシップの推進

◎戦略的な飛騨高山プロモーションの展開

- 飛騨高山プロモーション戦略部の創設
- 官民一体による魅力や価値の磨き上げと情報発信及び受け入れ体制の強化

◎飛騨高山の精神を表現する交流拠点エリアの形成

- 高山駅西地区における新たなまちづくりの推進
- 感動と学びそして笑顔あふれる施設の整備

◎SDGsの積極的展開

- 飛騨高山SDGsパートナーシップセンターの設置
- 市民による情報発信「私なりのSDGs宣言制度」の創設
- セミナー、シンポジウムの開催

社会



歴史・伝統の保存、継承

- 歴史的な町並みの保存
- 飛騨匠の技術・精神の継承

夢と誇りが持てる社会の構築

- 若者の交流の場の創出
- 子どもの夢や創造力を伸ばす
学習機会の提供

ともに支えあうしくみの構築

- 協働のまちづくりの推進
- 飛騨高山ファンとの連携強化
- 多文化共生社会の推進

環境保全意識の高揚
による誇りと愛着の醸成

担い手育成・
関係人口づくりによる
環境保全活動の活発化

脱炭素社会の早期実現

- 地域に根差した自然エネルギー活用
- 国内トップレベルの環境基準の
ごみ焼却処理施設整備
- ごみ減量化の推進（食品ロス削減など）

100年先の森林づくり

- 森林の多面的利用の推進（防災強化など）
- カーボンオフセットによる森林整備
- 森林・林業を支える人づくり

環境



山岳資源を活かした地域活性化

- 中部山岳国立公園の利用促進
- 自然との共生モデルの構築
～乗鞍山麓五色ヶ原の森～

金融機関

市民活動団体・NPO等

飛騨高山SDGsパートナーシップセンター 後援名義等許可一覧

【基本的考え方】

- ・市が後援名義を許可するもの
- ・飛騨高山SDGsパートナーシップセンター設置要綱第1条の目的に沿っている事業であること


【許可実績】

No.	許可区分	実施主体		実施事業	事業内容	許可期間	
		団体名	代表者名			始	終
1	後援	株式会社長瀬土建	代表取締役 長瀬 雅彦	「人との出会いが成長へと繋がる～私の水泳人生から～」	オリンピック競泳日本代表を招いた、水泳を通じて水の大切さ人への感謝についてを学ぶ講演会の開催	R5.6.20	R5.6.20
2	後援	株式会社長瀬土建	代表取締役 長瀬 雅彦	「森林空間を活用した久々野の未来を考える会 vol.2」	久々野地域の森林資源を活かした地域活性化策を検討する講演会及び意見交換会の開催	R5.11.10	R5.11.10
3	協賛	中部圏SDGs広域プラットフォーム	会長 飯吉 厚夫	中部圏SDGsフェスティバル2023	SDGsの機運醸成を図るため、中部圏域内の自治体や事業者等とのパートナーシップのもと、SDGsに関するイベント・フォーラム等を開催 ※県内は県と4市（SDGs未来都市）が協賛。高山市はSDGsウィーク巡回展を開催。	R5.11.2	R6.1.31

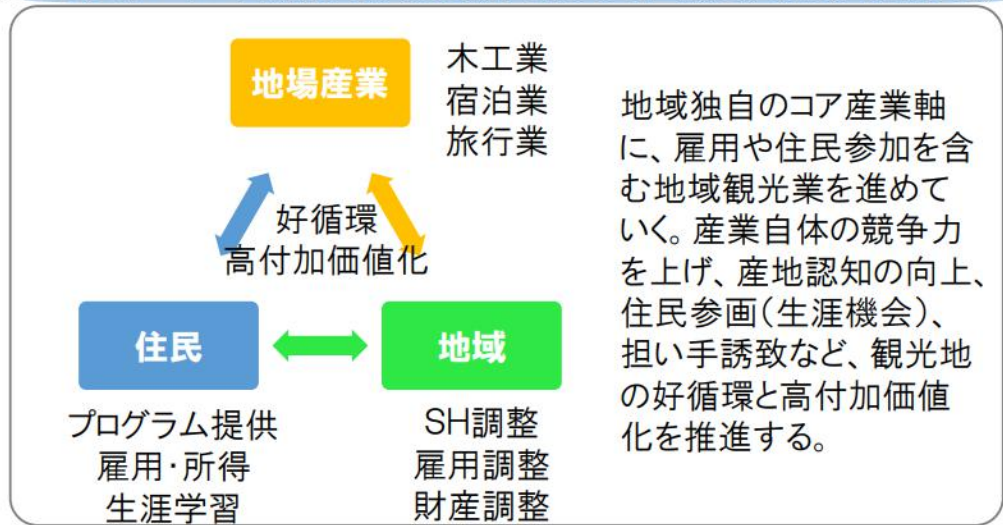
第3回飛騨高山SDGsパートナーシップセンター委員会からのご意見

机上配付資料

委員名	テーマ	内容（原文まま）
細田センター長	市民活動、NPO活動の具体的事例を知りたい	<p>経済産業省からサーキュラーエコノミーパートナーシップ参加の依頼が来ております。話題にして頂ければ幸いです。</p> <p>○サーキュラーエコノミーに関する産官学のパートナーシップの会員募集を開始します（令和5年9月12日） https://www.meti.go.jp/press/2023/09/20230912002/20230912002.html 既に参加の意思表示等のリアクションをいただくなど、パートナーシップにご関心を寄せていただきまして心よりの御礼を申し上げます。 ご不明点等ございましたら、当方まで個別にお問い合わせいただければ幸甚でございます。以上、何とぞよろしくお願ひ申し上げます。 経済産業省</p>
山本委員	事例紹介	<p>①レジリエンス協会との協働調査 防災アンケートについて 結果等</p> <p>②地域学校協働活動とSDGs 学びの循環・インプット アウトプット アウトカム</p>
長瀬委員	SDGsの今後の取り組みの発信 脱炭素やネイチャーポジティブについてもしっかり理解する必要がある	<p>飛騨高山パートナーシップセンターで取り組みの発信する方が少ない。知らないのか？申し訳ないですが、決まった企業ばかりなので周知も含めて市民の取り組みを前向きに届けて欲しい。</p> <p>脱炭素やネイチャーポジティブも高山市とのしての宣言を掲げてほしい。</p> <p>学校のSDGs教育が進められていて嬉しいです。</p>
張委員	事例「CRAFT VALLEY 361」について	別紙のとおり

テーマ 事例等	事例「CRAFT VALLEY 361」について
内容	<p>① 概要</p> <p>弊社が企画運営している「CRAFT VALLEY 361」という地域活性化のイベントが、10月20日から29日までの10日間にわたり、3年目で開催しました。</p> <p>このイベントは、地域資源を活用して、木工、農業、サービス業などさまざまな産業を一堂に集め、クラフトの聖地として位置づけました。イベント期間中、普段は使用されていない道の駅ひだ朝日村の隣接する古民家で展示販売が行い、久々野のワイナリーの葡萄畑ガイド付きのE-bike ツアー、高根にある廃校利用された飛騨高山蒸溜所と野麦学舎と連携し、見学ツアーなどのコンテンツを提供し、地域の魅力を幅広く外部に発信しました。これらのコンテンツを連携させ、集客と観光客の周遊を最大化しました。</p> <p>旧山村地域への移動は課題となっており、移動手段の向上策として、家具フェスのシャトルバスと連携し、朝日と高根の主要会場へのアクセスを改善しました。また、バスでアクセスが難しいエリアには、ガイド付きのE-bike ツアーを提供し、観光客に多様な移動手段を提供しました。「CRAFT VALLEY 361」は、リアルイベントのほかに、著名人を招き、事業展開に関するアドバイスを受けたり、Discover Japan さんのオンラインショップでクラフト商品をPRし、広範な観光客層にアクセスできるようにしました。</p> <p>このように、我々の取り組みは地域の活性化を促進し、地域資源を最大限に活用するために複数の戦略を組み合わせました。</p> <p>②SDG s の視点</p> <p>地域の持続発展観光を進めるべく、世界持続可能観光協会が示す国際評価基準を参考として地域オリジナルのモデルの構築を推進しております。</p> <p> Global Sustainable Tourism Council GSTC:世界持続可能観光協議会</p> <p>サステイナブルなツーリズムの推進について、本事業は下記の4つの視点から展開しております。(GSTCの該当番号に基づいて作成しています)</p>

1. 観光産業（産業・地域・住民）の一体的な成長産業化
 (GSTC(C1):コミュニティ,旅行者,文化資源に対する利益最大化、悪影響最小化)



2. 地域雇用や就業機会拡大への基盤づくり
 (GSTC(B2):地域社会における経済利益の最大化、悪影響の最小化)



3. 遊休施設の利用最大化により誘客と地元参画の場へ

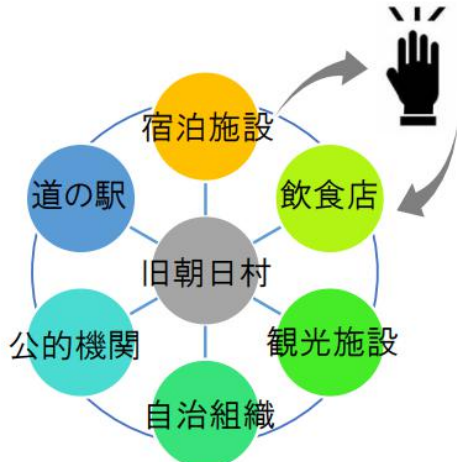
(GSTC(C1):コミュニティ,旅行者,文化資源に対する利益最大化、悪影響最小化)

<p>豪農古民家 (利用僅か)</p> 	<p>旧小学校 (利用なし)</p> 	<p>クラフトを柱とし、新たなコンテンツを造成・誘致することで、遊休施設(豪農古民家、旧小学校など)を場として最大限利用していく。誘客に繋がることや地元プレイヤーも集い表現することで、エリアPRとなり、将来的な移住者発掘にも貢献していく。</p>
		

遊休地の利用最大化

4. マルチステークホルダーによるタレントプール形式の運営

(GSTC(A2):持続可能な観光地管理)



地域の持続的観光を進める関係組織がそれぞれの責任のもと事業を推進。各プログラム推進者は自発性主体性(この指とまれ方式)を大事にし、連携して展開をするもの。観光・地域活性化に向けて持続的に事業を運営していくもの。